

こんにちは、長谷川シャッターです。  
皆さんは毎日使用されている  
シャッターに違和感や少しの不便を  
感じたことが一度はありません  
か？毎日見ているからこそその気づ  
きから故障や危険を未然に防ぐこ  
とができるかもしれません。  
今回はお客様の元で実際にあった  
気づきからのご相談について2つ  
紹介します。

ある日、R社のT社長より電動  
シャッターの不調についてお電話が  
ありました。

「電動シャッターの停止位置がおか  
しくなっているみたいで、自分で見  
てみようと思ったけど心配やから  
見に来てくれないかな？」とのこと  
でした。

実際に確認させていただくと、T様  
がおっしゃった通りシャッターの下  
限の停止位置が適正ではありません  
でした。

原因として障害物感知の故障か  
シャッターの上限の停止位置を決め  
るリミットの不調などが考えられ  
ます。



## そのシャッター、不便なだけですませていませんか？

障害物感知についてはT様がすでに  
電池の交換を試してくださっており、  
弊社で改めて動作確認をし、問題が  
ないことが分かりました。  
次に上限下限を決めるリミットの調  
整を行ったところ、反転してしまう  
不具合が解消され正常に閉まるよう  
になりました。

T様からは「あっという間に作業し  
てもらえてよかったわ。すごかつ  
た！本当にありがとうございます。」と、とて  
も喜んでいただけました。

電動シャッターは毎日使うものだけ  
からこそ不具合に慣れてしまいがちで  
す。「まだ動いているから大丈夫」  
と思っても内部では劣化やズレ  
などが進んでいる場合もあります。  
少しでも気になる点があれば、早め  
の点検で安心をプラスしませんか？

不安解消！



長谷川シャッター工業株式会社

〒510・0103

三重県四日市市楠町北五味塚337番地1

TEL: 059・398・3311(代表)

059・397・3311(緊急修理用)

FAX: 059・398・3312

メンテナンス担当

工事担当

長谷川 利敦・長谷川 達智  
坂倉 敏・端野 剛  
津田 哲・内山 佳典  
長谷川 和人・高橋 満  
長谷川 辰徳

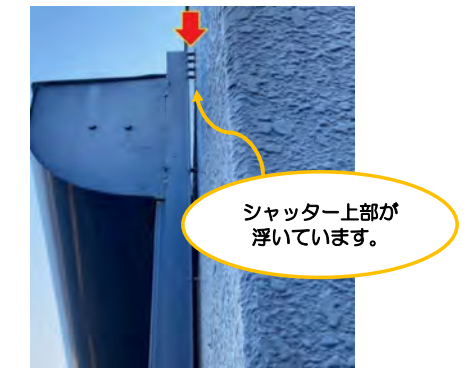
2つ目の出来事については普段使い慣れたシャッターで起こった大きな危険につながる出来事です。

客としてD社に買い物に行った際に弊社のシャッターを使ってくださったっ  
ていることを発見し、嬉しさから店頭におみえになったK様にお声を掛けさせていただいたことがきっかけでした。

わたしがシャッター屋と知るとK様は「ちょっとシャッターのことで気になっていることがあって聞いてもいい？」とのことでした。お話を伺うと手動シャッターのカバーが錆びていることが気になっていて交換をお考えとのことでした。

後日、シャッターに長年携わっております弊社が確認に伺ったところ、シャッターをとりつけてある躯体からシャッター上部が錆びによる腐食の影響で外れてしまい、部分のみでついている大変危険な状態でした。

すぐにK様にカバーを変えるだけの問題ではないことをお伝えすると、とてもびっくりされていました。



新たに取り付けさせていただきました。

## はやめのチェックで安心を

K様は「どうしたらいいのかな？」とご不安な様子でしたのでこのまま使い続けた場合、何かの拍子にシャッターごと落ちてきてしまう危険性があることを伝え、シャッターの交換をご提案させていただきました。

K様は、日々の開け閉めは問題なく行っていたとのことですが、錆をきっかけに弊社で確認をさせていただき、事故を未然に防ぐことができ「お客さんも近づくところだから取り替えてもらって安心できるよ。」とホッとしていただけたようです。

このような普段のちょっとした違和感や不調はありませんか？早めの点検・修理で、事故や急な大きな出費を未然に防げる可能性がアップします。皆様が安心してお仕事できるような、より良い職場環境と一緒に作っていきましょう。少しでも気になることがあればお気軽に長谷川シャッターにご相談ください。

### 長谷川シャッターの こ・ほ・な・し

今シーズンより、事務所の足元の寒さ対策として「ぐるぽか」というパネルヒーターを導入しました。

じんわりあたためられキンキンに冷えていた足元の辛さが軽減しました。

朝、出勤するとパネルヒーターのスイッチを入れるところからスタートです。

皆さんは寒～い冬をどう乗り切りますか？